

## 『わが生涯に一片の悔いなし!!』

副理事長 小林剛志

コラムの内容としては不適切かもしれませんが、以下の  
お名前のご記憶がありますでしょうか？

海部俊樹・石原慎太郎・西郷輝彦・西村京太郎・高橋国  
光(レーシングドライバー)・西村賢太・志垣太郎・宝田明・藤  
子不二雄 A・柳生博・上島竜平・河村亮(日テレアナ)・渡辺  
裕之・山本コウタロー・安倍晋三・島田陽子・小林清志・三宅  
一生・オリビア・ニュートン・ジョン・古谷一行・ミハイル・ゴル  
バチョフ・アントニオ猪木・中本工事・村田兆治・松原千明・  
三遊亭円楽・森英恵・渡辺徹・水木一郎・あき竹城・高見知  
佳。

2022年12月21日までに亡くなった、政治家・芸能人・  
文化人などの方で私が特に印象に残る方々です。例年に  
比べて、昭和生まれの私の世代なのか、訃報を聞かされた  
胸が締め付けられる思いでした。ドラマであったり、ニュース  
の一コマであったり記憶が鮮やかによみがえった1年で、  
多くの著名人がなくなり、昭和の終焉を感じました。

人は「死」を恐れ、永遠の命を求めることが多いと聞き  
ますが、この世界では死ぬべきときに死に次世代に受け継  
ぐ(礎となる)ことが摂理です。高橋るみこさんの作品で「人  
魚の森」という作品がありますが、主人公の「湧太」と後に出  
会う「真海」は人魚の肉を食べ不老不死となった結果、人と  
交われぬ永遠の孤独をその身に背負うことになり、親しいも  
のは皆死に絶え、永遠の時を生きなければならず、戦国の  
世からいまでもその長くつづく旅の中、彼らは「人魚の伝  
説」に翻弄される人々の悲哀を見続けることとなります。

また、作品名は忘れたのですが、つい先ほどまで他人  
だった男女が情事を終えた後にタイムリーフを繰り返して永遠  
の時間の中で生活しなければならず、若さも資金も減らな  
い代わりに、記憶だけが積み重なってゆき、先が見えない  
男女の葛藤と来たる日(日常にもどる)の為に準備をする姿  
勢が未来を造ってゆくというお話でした。「銀河鉄道 999」  
も永遠の命に関する物語で「永遠の命」をテーマにした物語  
が世の中に多く存在します。

どの作品も、未来が永遠である代わりに、終わりの無い

世界で葛藤しそれでも前に進み「自分の理想」を追い求め  
てゆくことがテーマです。一寸先の明日のみ追われ、なかな  
か未来が見いたせない方もおられるのでは無いかと思いま  
す。私自身、人は生まれながらに不公平であることが承知し  
ていますが、時間だけは平等であると思っています。限られ  
た時間の中で未来と今を見据えてしっかりと前進できている  
のが理想ですが、皆様はいかがでしょうか？

しかし、人生は無情です。志半ばで人生を強制的終了  
させてしまう場合もあり、時間を無駄にできないとも考えて  
います。人生100年と言いますが、物事が何でも入る時期  
や体が自由に動く“ゴールデンタイム“はごくわずかであつた  
と今になって、過去の自分を悔やんでいます。後戻りが  
出来ません。しかし、まだ少し時間が残されているため、残  
りの時間は過去の失敗から改善できるように行動してゆき  
たいと考えています。

よく人は「実行して失敗した後悔」より、「実行しないでの  
後悔」の悔い残るといいます。それは、私が思うに「決  
められない人」なのだと思います。進む道をまちがえていい  
ので決めない(覚悟も持つ)ことが必要で、「人生は迷ってい  
る間にチャンスなんてあつという間に過ぎてさってしまうもの  
だから」です。



今後、私の行動は、冒頭でお話した「次世代に受け継  
ぐ」ことが一つでも多くできることが理想です。今やるべき時  
に、結果はどうであれ、事を果たし、「北斗の拳ラオウ」のよ  
うに「わが生涯に一片の悔いなし!!」とって生涯を遂げるこ  
とができるのか・・・おそらく、あれもできかかった、これも出  
来ていないと後悔してこの世を去る可能性が大だと思っ  
ていますがみなさまはいかがでしょう？